

緊急決定!

11年振り来日!奇跡の2夜が実現!

テレサ・ベルガンサの愛弟子にして  
モンセラート・カバリエの正当なる後継者



スペインの至宝

マリア・バーヨ

ソプラノ・リサイタル

Two Evenings with María Bayo

6/10月 19:00開演  
/18:30開場

極上のスペイン歌曲&サルスエラ名曲

トルドラ、ガルシア=アブリル、エスプラ ほか

6/17月 19:00開演  
/18:30開場

超絶品!古典歌曲の夕べ

右に出る者なし!最強のヘンデル&モーツァルト

すみだトリフォニーホール 小ホール

墨田区錦糸1-2-3 (JR・東京メトロ錦糸町駅 徒歩5分)

全席指定

S席 8,000円

A席 6,000円

プレミアム席 10,000円

プレミアム席は各日15枚限定。終演後・楽屋での乾杯にご参加いただけます。  
MCS限定、お申込みはお電話のみの取り扱いとなります。

お問合せ・電話予約: MCS

03-3473-2880 (平日10:00-17:00)

インターネット予約: マイチケ  
<https://myticketnavi.com>



トリフォニーホールチケットセンター トリフォニーホールチケットオンライン  
03-5608-1212 <http://www.triphony.com>

主催: 一般社団法人MCSヤング・アーティストズ

助成: 駐日スペイン大使館、セルバンテス文化センター

協力: すみだトリフォニーホール

 M.C.S.  
YOUNG ARTISTS



ピアノ:  
プリオ・アレクシス・ムニョス

## マリア・バーヨ (María Bayo : soprano)



バロック音楽、スペイン音楽、イタリア、フランス音楽の良き解釈者。輝かしく、クリアな声、たぐいまれな技巧、表現力、演技力などで20年以上に渡り世界最高のスペインのソプラノとして君臨している。ザルツブルク音楽祭においてモーツァルトのダ・ポンテ三部作に4年にわたり出演した唯一のスペイン人である。スペイン音楽も熱心に歌ってきており、多数のサルスエラの録音を残しているほか、忘れられた作品の発掘も熱心に行ってきた。オペラや室内楽の分野でも著名で尊敬を受ける指揮者や演出家たちと共演してきている。役の真髓を掘り起こし、その声を用いてさまざまな切り口で歌ってみせるその解釈は世界中で非常に高く評価されている。

シノーポリ、シャイー、パッパーノ、ゼッダ、アリッツィ、コリン・デイヴィス、マゼール、ヤーコプス、ルセ、ホグウッド、ボルトン、ヘレヴェッヘなどの指揮でミラノ・スカラ座、ベルリン国立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ミュンヘン、ビルバオ、ドレスデン、ブリュッセル、マドリードのテアトロ・レアルおよびテアトロ・デ・ラ・サルスエラ、ウィーン国立歌劇場、パリのバスチーユオペラ、パレ・ガルニエおよびシャトレ座、ローマ、フィレンツェなど世界最高の歌劇場で歌ってきた。

## フリオ・アレクシス・ムニョス (Julio Alexis Muñoz : piano)



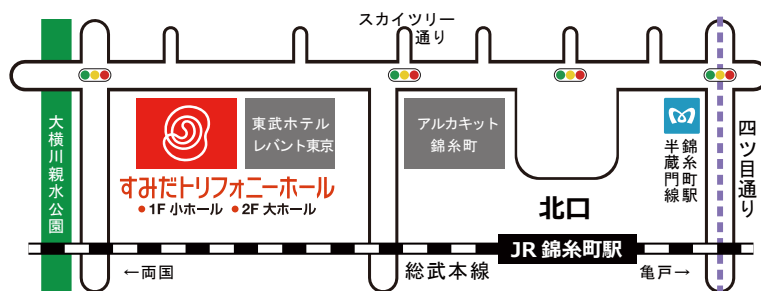
スペインのカナリア諸島出身。ラスパルマス、マドリードの音楽院で学ぶ。1986年国際メニューイン音楽アカデミーより奨学金を授与され、スイス、ゲシュタートにて室内楽を学ぶ。1986年ペドロ・エスピノーサコンクール第1位。1989室内楽青年音楽コンクール第2位。1991年、リスト音楽院(ブタペスト)上級大学院課程を修了。その後さらに、スペイン音楽の大家であるフェリクス・ラビージャ、ミゲルサネッティ、W. リーガーのもとで研鑽を重ねた。若くして国立マドリード音楽院のピアノ科のピアノ教授を務め、ソフィア王女音楽院では、テレサ・ベルガンサ、マヌエル・シッドと共に指導、現在マドリード国立高等音楽学院学長を務めている。

また毎年8月のサンティアゴ・デ・コンポステラでの国際スペイン音楽講座では、音楽責任者としてスペインを始め世界中から集まる音楽家の教育を行った。声楽レパートリーの専門家としての密度の濃いレッスンは常に好評を博していた。

## すみだトリフォニーホール SUMIDA TRIPHONY HALL

〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-3  
TEL 03-5608-5400 (代)

- ★ JR総武線「錦糸町駅」北口より徒歩5分
- ★ 東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」3番出口より徒歩5分
- ★ 都営バス「錦糸町駅」下車 徒歩5分



公演詳細、および最新の情報は

 M.C.S.  
YOUNG ARTISTS  
<https://mcsya.org/>



### MCS今後のコンサート予定

- 6/19(火)ベンジャミン・フリス ピアノ・リサイタル
- 6/24(月)ティモシー・リダウト(ヴィオラ)&ベンジャミン・フリス
- 9/27(金)アンドレイ・コロベニコフ ピアノ・リサイタル
- 9/28(土)コロベニコフ&アンドレイ・ググニン ピアノ・デュオ
- 9/29(日)アレクセイ・リュビモフ ピアノ・リサイタル
- 10/16(水)クリストフ・ルセと仲間たち
- 10/22(火)パウル・バドゥラ=スコダ ピアノ・リサイタル
- 12/12(木)クリスマス・コンサート

(すみだトリフォニーホール小ホールを予定)

MCSは2006年にイギリス、ロンドンのメルボーン地区において発足した団体です。26歳から33歳までの有望な若手音楽家にプラットフォームを提供すること、そして音楽愛好家の方々に質の高い音楽や芸術文化を伝えることを主眼として、ロンドンをはじめ、ウィーン、モスクワ、ヘルシンキなどで主催公演を実施してまいりました。

また、主催公演とは別に、皆様にはぜひ、と思うコンサートや演劇などもご紹介してまいりました。2018年11月、日本における活動を本格化させるべく、一般社団法人MCSヤング・アーティストとして法人登録。今後さらに広範な活動を続けたいと思っております。